

くらしと地域福祉に関するアンケート（案）

みなさま方には、日頃から宇治市政につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、このたび、宇治市では「宇治市地域福祉計画」の次期計画の策定にあたり、市民のみなさまの地域福祉に対するお考えや地域活動への参加状況などを把握するため、宇治市内にお住まいの18歳以上の方々の中から無作為で3,000名の方を選び、アンケート調査を実施することといたしました。

調査の結果は、すべて統計的に処理され、次期計画の基礎資料として利用するもので、目的以外のことに使用することは一切ありません。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

年 月

宇 治 市

ご記入にあたってのお願い

- ※ 回答は、無記名でお願いします。また、ご本人が回答することが難しい場合は、ご本人の意見を尊重して代筆していただくか、下記問い合わせ先までご相談ください。
- ※ 回答は、各設問についてあてはまる番号に○をつけてください。選択する答えの数は「1つだけ」「あてはまるものすべて」「3つまで」などの指示にしたがってください。
- ※ 「その他」の場合は（ ）内または にその内容を具体的にご記入ください。
- ※ 調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに 〇〇月〇〇日（△）までにご投函ください。

【調査についてのお問い合わせ先】

宇治市 福祉こども部 地域福祉課

電 話 20-8730 FAX 21-0407

メール chiikifukushi@city.uji.kyoto.jp



「地域福祉」とは？

少子・高齢化が進み、また、人々の暮らし方や働き方などが多様化する中で福祉をとりまく環境も大きく変わってきています。

身近な地域社会全体で支援が必要な人たちを支えていくことが、今求められています。

地域の中には、なかなか見えにくいのですが、いろいろな悩みのある人たちがいます。

例えば、将来への不安やストレスからひきこもってしまっている人、また、お天気がいいから散歩をしたいとか、仲間と話がしたいと思っても誰かの手助けがないとできない人もいます。

こうした身近な生活上の課題を解決したり、日常生活における自立を支援したりするのに、介護保険などのサービスだけで対応するには難しいこともたくさんあります。

誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていくために、地域で暮らす人たちがお互いに出会い、支え合っていく地域コミュニティの実現が大切です。

行政による福祉施策や福祉サービスを利用したり、民間による福祉サービスを利用したりするだけでなく、地域での人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり、助けられたりする関係をつくっていくこと、それが地域福祉です。

地域でともに支え合う関わりは生活している地域への愛着を生み出し、住民が互いに理解し合える地域をつくる一歩となります。

一人ひとりが安心して生活することができるように、人の輪が広がり、地域全体がいきいきと明るく元気になっていけたら、それは、大変すばらしいことではないでしょうか。

【第2期宇治市地域福祉計画(現行計画)】

基本理念・・・「一人ひとりを認め合い ともに支え合う

安心して暮らせる 住民主体のまちづくり」

計画期間・・・平成23年3月 から 令和4年3月 (11ヶ年計画)

あなたご自身と世帯についてお聞きします。



【問1】 あなたの性別について教えてください。

- 1 女性
- 2 男性
- 3 答えたくない または どちらでもない

【問2】 あなたの年齢について、次の中から1つ選んでください。

- 1 20歳未満
- 2 20～24歳
- 3 25～29歳
- 4 30～34歳
- 5 35～39歳
- 6 40～44歳
- 7 45～49歳
- 8 50～54歳
- 9 55～59歳
- 10 60～64歳
- 11 65～69歳
- 12 70～74歳
- 13 75～79歳
- 14 80～84歳
- 15 85歳以上

【問3】 あなたの職業は次のどれにあたりますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 正規の職員・従業員
- 2 労働者派遣事業所の派遣社員
- 3 パート・アルバイト
- 4 自営業主（雇人あり）
- 5 自営業主（雇人なし）
- 6 家族従業者
- 7 家庭内の賃仕事（内職）
- 8 その他（ ）
- 9 職業にはついていない（以下の中から1つ選んでください）
・家事専業 ・学生 ・失業中 ・その他（ ）

【問4】 あなたは、宇治市に何年お住まいですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 1年未満
- 2 1年～3年未満
- 3 3年～5年未満
- 4 5年～10年未満
- 5 10年～30年未満
- 6 30年以上

【問5】 あなたの住んでいる小学校区名を次の中から1つ選んでください。

- 1 菟道小学校区
- 2 菟道第二小学校区
- 3 神明小学校区
- 4 槇島小学校区
- 5 北槇島小学校区
- 6 小倉小学校区
- 7 伊勢田小学校区
- 8 西小倉小学校区
- 9 北小倉小学校区
- 10 南小倉小学校区
- 11 大久保小学校区
- 12 大開小学校区
- 13 西大久保小学校区
- 14 平盛小学校区
- 15 宇治小学校区
- 16 三室戸小学校区
- 17 南部小学校区
- 18 岡屋小学校区
- 19 木幡小学校区
- 20 御蔵山小学校区
- 21 笠取小学校区
- 22 笠取第二小学校区
- 23 わからない

【問6】あなたは、現在の地域（小学校区）に何年お住まいですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 1年未満 2 1年～3年未満 3 3年～5年未満
4 5年～10年未満 5 10年～30年未満 6 30年以上

【問7】あなたが、現在一緒に暮らしている家族構成について、次の中から1つ選んでください。

- 1 本人だけ（一人暮らし） 2 本人とその配偶者
3 本人と親の世帯 4 本人・配偶者・子ども世帯
5 本人・配偶者・子ども・親の世帯
6 本人と子ども 7 その他（ ）

【問8】あなたは「福祉」に関心をおもちですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 とても関心がある 2 ある程度関心がある
3 あまり関心がない 4 全く関心がない

【問8-1】問8のうち、「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」に○を付けられた方にお聞きします。特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 児童福祉（子育てなど） 2 障害者福祉（障害者介護など）
3 高齢者福祉（高齢者介護など） 4 地域福祉（地域での支え合い活動）
5 社会福祉（福祉全般） 6 その他（ ）

【問9】あなたは、①ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。また、②今後はどの程度の付き合いをしていきたいですか。①現状と②今後それぞれ1つ選んで下記回答欄に番号を記入してください。

- 1 困っているとき（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりする
2 たまに立ち話をする程度
3 会えばあいさつをかわす程度
4 付き合いがほとんどない
5 その他（ ）

①現状	②今後

【問10】日ごろの生活で不安を感じていることはありますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 失業している（失業の恐れがある） | 2 収入が少ない |
| 3 健康のこと | 4 老後のこと |
| 5 育児のこと | 6 子どもの教育や将来のこと |
| 7 住宅のこと | 8 家族の中での人間関係 |
| 9 地域での人間関係 | 10 職場の中での人間関係 |
| 11 悪質商法 | 12 地震や火事などの災害時の対応 |
| 13 交通事故 | 14 家族の看護・介護・介助 |
| 15 財産や相続のこと | 16 特にない |
| 17 その他（ | ） |

【問11】あなたは、暮らしや福祉に関する必要な情報をどこから得ていますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 市の窓口 | |
| 2 行政関係機関（地域包括支援センター、子育て支援センター等） | |
| 3 市の広報（市政だより） | 4 市の広報（情報誌・チラシ） |
| 5 市の広報（ホームページ） | 6 病院などの医療機関 |
| 7 民生児童委員 | 8 学区福祉委員 |
| 9 民間の福祉事業者等 | 10 社会福祉協議会 |
| 11 市民活動団体・NPO | 12 町内会・自治会 |
| 13 家族・親族 | 14 友人・知人 |
| 15 インターネットサイト | 16 SNSやニュースアプリ |
| 17 動画投稿サイト | 18 新聞・雑誌 |
| 19 テレビ | 20 特に情報を必要としていない |
| 21 その他（ | ） |

【問 1 2】あなたは、生活や福祉に関する困りごとが起こったとき、誰に相談しようと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

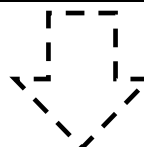
- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 市の窓口 | 2 病院などの医療機関 |
| 3 民生児童委員 | 4 学区福祉委員 |
| 5 地域包括支援センター | 6 子育て支援センター |
| 7 児童相談所や保健所 | 8 民間の介護・福祉サービス事業者等 |
| 9 社会福祉協議会 | 10 市民活動団体・NPO |
| 11 町内会・自治会 | 12 家族・親族 |
| 13 友人・知人 | 14 近所の人 |
| 15 インターネット | 16 適切な相談先がない |
| 17 その他 (|) |

【問 1 3】隣近所で、高齢者や障害のある人の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。あてはまるものすべてに○印を記入してください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 安否確認の声かけ | 2 趣味などの話し相手 |
| 3 仕事に関すること | 4 ごみ出し |
| 5 短時間の子どもの預かり | 6 家の前などの掃除 |
| 7 外出の手助け | 8 子どもの送り迎え |
| 9 子どもの通学路の見守り | 10 高齢者等の介護 |
| 11 その他 (|) |
| 12 手助けが出来ない | 13 手助けはしたくない |

【問15】あなたは、現在、身近な地域での活動（ボランティアなど）に参加されていますか。また、今後はどう考えていますか。あてはまるものすべてに○印を記入してください。また、活動に参加している方（参加したことがある方を含む）は、活動の拠点となる施設はありますか（ありました）か。枠内にア～ケからあてはまる記号を記入してください。

項 目		現在の活動への参加状況				今後の意向		
		参加経験						
		なし		あり		A 今後活動に参加してみたい (継続も含む)	B 今後は参加したくない	C 関心がない
		① 参加したことはない	② 現在活動に参加している	③ 過去に活動に参加したことがある	(主な活動拠点を下記より選んでください)			
(町内会・自治会・小学校区) 身近な地域での活動	1 高齢者支援に関する活動	1	2	3		A	B	C
	2 子育て支援に関する活動	1	2	3		A	B	C
	3 障害者支援に関する活動	1	2	3		A	B	C
	4 町内会に関する活動	1	2	3		A	B	C
	5 子ども会に関する活動	1	2	3		A	B	C
	6 美化運動やリサイクル運動 など、環境に関する活動	1	2	3		A	B	C
	7 教育・文化・スポーツの振興に 関する活動	1	2	3		A	B	C
	8 その他 ()	1	2	3		A	B	C



- <活動拠点について>
- | | | |
|-------------------|---------|------------|
| ア 集会所・公会堂 | イ 公民館 | ウ 総合福祉会館 |
| エ コミュニティセンター | オ 小・中学校 | カ 地域福祉センター |
| キ コミュニティワーク（旧隣保館） | ク 公園 | |
| ケ その他 | | |

【問 1 7】あなたは、地域福祉活動の担い手である下記①～③の団体等を知っていますか。

①～③それぞれについて、選択肢 1～4 の中から 1つ 選んでください。また、選択肢のうち 2 を選ばれた方は、その理由を下欄から 3つまで 選んでください。

①学区福祉委員会（各小学校区に組織されているボランティア団体）

- 1 知っており、活動に参加したり、事業を利用している（したことがある）
- 2 知っているが、活動に参加したり、利用したことはない → 理由
- 3 名前を知っている程度
- 4 まったく知らない

②民生児童委員

- 1 知っており、民生児童委員が行う事業を利用している（したことがある）
- 2 知っているが、事業を利用したことはない → 理由
- 3 名前を知っている程度
- 4 まったく知らない

③社会福祉協議会

- 1 知っており、活動に参加したり、事業を利用している（したことがある）
- 2 知っているが、活動に参加したり、利用したことはない → 理由
- 3 名前を知っている程度
- 4 まったく知らない

《理由》

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| ア 日時や場所、内容などがわからないから | イ 一人では参加しづらいから |
| ウ 自分の趣味や余暇活動を優先したいから | エ 会場に行く手段がないから |
| オ 仕事や家事・育児・介護などで忙しいから | カ 人との付き合いがわずらわしいから |
| キ 病気や障害など身体的な理由で、参加しづらいから | |
| ク 活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わないから | |
| ケ 自分が事業や活動の対象となっていないから | |

【問18】宇治市では高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)が29%を超える中、福祉においては行政と地域の協働がますます求められています。あなたは、これからの地域福祉活動を担う人材を確保するために、どのような取組みを進めれば良いと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 人材の育成、養成(ボランティア養成講座や研修会の開催、交流の場の充実など)
- 2 地域福祉活動への参加意欲を高めるための取組み(表彰制度の設立など)
- 3 若い世代が気軽に地域福祉活動に参加できるような様々なきっかけづくり(ボランティア体験機会の提供など)
- 4 情報発信、広報活動の充実による市民意識の啓発
- 5 学校における福祉教育の充実による子どもの頃からの意識づけ
- 6 企業・事業者などの協力、連携の強化への取組み(勤労者ボランティア講座や活動プログラムづくり支援など)
- 7 現役時代に培った多彩なノウハウを持つ退職者への働きかけ
- 8 その他

【その他自由記述】

①「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の影響を踏まえ、地域住民が地域福祉活動を進めるうえで、取り入れるべき視点があればご記入ください。

②地域福祉に関するご意見があれば、ご自由にご記入ください。

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。